

第82号 福岡県 SLA ニュース

令和4年8月22日(月)福岡県学校図書館協議会 発行 福岡市東区箱崎1-41-12 福岡県立図書館内



「GIGA スクール構想」における学校図書館

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に追われ早3年目となりました。みなさまにおかれましては、対策に追われる中、学校図書館の運営に尽力されていることと思います。自治体や学校においては、学級・学校閉鎖、三密防止の為に利用制限など、多くの制約が課せられ、日々変化する感染状況への対応を行いながら、学校図書館の活用に関して司書教諭や学校司書を中心に話し合いを行い、様々な取り組みが行われているようです。

児童生徒達がこれから豊かな感受性や想像力を身に付け、課題や問題解決の為に資料活用スキルを身に付けるために、学校図書館の役割は大きくなってきています。文部科学省が推進している「GIGA スクール構想」による1人1台端末環境下においても学校図書館の積極的な活用が提唱されています。取り扱う資料も、電子書籍やインターネット等のメディア関係が大幅に加わってきました。児童生徒の情報活用能力等の育成する「情報センター」の機能を有している学校図書館としては、これまで以上に紙体、電子媒体のメリット・デメリットを認識させ、状況や課題に応じた利用の仕方、情報選択のスキルとメディアリテラシーを身に付けさせるという役割を大きく担っているということになります。

コロナ禍以降、学校図書館の活用の仕方についても随分と変化したと思います。三密防止やタブレットの活用により、図書館や本の利用が減ったという意見も聞かれますが、一方で「パソコン室へ移動をしなくても図書館でインターネットでの調べ学習ができるので、書籍とネットの両方の資料を同時に活用できる」「オンラインを活用してオリエンテーションや本の紹介を行った」等の新たな取り組みの形を模索しているところもあるようです。今後も新しい利用の仕方を柔軟に取り入れる必要があります。自治体・学校ごとに子ども達の実態や感染状況も違い、制約も様々だと思いますが、どんな働きかけができるか知恵を出し合い、情報を共有することで実践を広めていきたいと考えています。

また、読み取る力=読書力・読解力、書く力=意見や考えを文章化する力が、今後の児童生徒達にはより必要になってきています。これらは身に付けるには時間がかかりますが、一度身についたら簡単になることはありません。そのために、1人でも多くの児童生徒に、読書センターとして学校図書館から読書の楽しさ、本の魅力を届けられるよう頑張っていきたいと思います。

福岡県学校図書館協議会の
HPはこちらから



コンクールに応募を！

◇第68回全九州学校図書館コンクール

◇第73回福岡県学校図書館コンクール

※10月1日(土)締め切り

(自己評価表を県 SLA 事務局へ)

※奨励賞は11月4日(金)までに推薦書と資料を事務局までお送り下さい。

(各地区事務局→県 SLA 事務局へ)

◇第68回青少年読書感想文全国コンクール

※10月14日(金)締め切り

(集計表と共に県 SLA 事務局必着)

※原稿用紙を袋とじにしてホッチキスでとめ、応募票を右肩上に付けてご応募ください。字数を超えた場合、少なすぎる場合でも失格となります。ご注意ください。

◇第66回西日本読書感想画コンクール

※10月31日(月)締め切り

(集計表と共に県 SLA 事務局必着)

※必要事項を記入した応募票を、作品の裏面右上に絵の上下に合わせて糊付けしてください。
※作品を描く上で工夫や苦心したことを、原稿用紙で200字程度にまとめて裏に貼ってください。

コンクールへのご応募、いつもありがとうございます。先生方の熱心なご指導と努力のおかげで成り立っています。今後もご協力をお願いいたします！応募要項が届いていない！という学校はまず各地区の評議員へお尋ねください。

集計表は提出数でなく取り組んだ児童生徒数でおねがいします！！